

令和3年度

# 事業報告書

令和3年 4月 1日 から

令和4年 3月31日 まで

公益財団法人下関海洋科学アカデミー

# 令和3年度事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

## 1. 事業概要

当財団は指定管理者として下関市より下関市立しものせき水族館「海響館」の管理運営事業を受託し、地域社会への貢献に努めるとともに、自然と人との共存を実感できる観光・レクリエーション・学習施設として、教育的配慮のもとに展示や運営による「市民が誇れる水族館、やさしい水族館、感動が記憶に残る水族館」を目指した活動を行い、またSDGsに関連した海洋ゴミの回収活動、紙使用量や消費電力の節減などに取り組みました。

新たに動物健康管理室を設け、飼育動物を統括的に管理し、且つ動物の健康を重視する組織体制としました。

With コロナでの管理運営の質的向上を図り、新型コロナウイルス感染症対応地方創生交付金を利用した来館者用トイレ改修工事及び観覧通路床改修工事が実施されました。また同じく入館時に職員との接触をなくするための新入退館システムも令和4年3月1日に稼働を開始しました。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のために令和3年5月21日から6月20日まで及び8月21日から9月26日までの計68日の期間を臨時休館としました。

海響館は20周年を迎え、コロナ禍ではありましたが上半期を対象に新4トン活魚運搬車のお披露目展示をはじめ100日連続100種のフグ紹介や20周年記念切手シート販売など各種の記念イベントを実施しました。また、海響館職員の編集による20周年記念誌を発刊しました。

公益事業については、下関市の新型コロナウイルス感染拡大防止の規制に対応しながら、新型コロナウイルス感染防止対策を継続し、及び強化し、楽しく学ぶスタイルで、リピーター対策を考慮した内容で実施しました。

「食と資源」をテーマに特別企画展「美味 sea 水族館」を令和3年7月3日から11月30日まで開催しました。

ゴールデンウィークの「夜の水族館」は新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止としました。夏季の「夜の水族館」は令和3年7月21日から8月20日までの期間開催しました。「海響あーとコンテスト」を実施した他、2021ハッピーハロウィン in 海響館、クリスマス、正月及びバレンタインの季節催事についても新型コロナウイルス感染防止対策を執り実施しました。なお、体験型イベント「ペンギンレンジャー」はコロナ禍での実施が難しいため、「ペンギンフィールドガイド」に替え実施しました。

懸案のマカロニペンギンが有精卵を1個産卵したため、フンボルトペンギンのペアに托卵しましたが、孵化には至りませんでした。

長期飼育の取組では、飼育年数20年以上の個体がバンドウイルカなど海獣類で11頭、ペンギン類で11羽、魚類では4種8個体が現存している他、マンボウの現展示個体は、令和3年6月27日以降から海響館の飼育記録を更新し続けており、令和4年4月25日に6年目を迎えます。

当館所属のバンドウイルカの凍結精子を用いて新江ノ島水族館において令和2年4月21日に誕生したバンドウイルカは順調に成育しています。

野生生物のうち特にウミガメ類や鯨類の保護及びストランディングの調査を継続実施した結果、ウミガメ7件、鯨類ストランディング16件、目撃情報12件に対応しました。

ノルウェーのトロムソ博物館より借用展示しているシロナガスクジラ全身骨格標本の保守検査は、コロナ禍により延期されている状態ですが、令和3年9月に迎えた契約期限については書面により令和6年9月9日まで延長されました。

施設の老朽化は更に進み、展示水槽の亚克力ガラスの破裂や水槽からの漏水などの事故が発生しましたが、

観覧に支障がでないように都度対応しました。

下関市が進める「海響館改修基本計画」の基本設計のための12回の検討会議に参加し、協力しました。また、新たにカリフォルニアアシカの繁殖及び展示のための新施設の基本計画を進めました。

コロナ禍ではありましたが、昨年度と同様に一般社団法人日本水族館協会のオンラインでの諸事業に積極的に参加しました。一方、公益社団法人日本動物園水族館協会の種の保存に関する海獣類、ペンギン類の血統登録調査にこれまで通り協力しました。なお、日本水族館協会が日本鯨類研究所と共同実施機関となって新たに取り組む寄鯨調査事業では石橋館長が統括協議会副議長として事業の骨格造りに、立川副館長が運営委員会副委員長として調査推進に関わりました。

68日間の臨時休館を含めた新型コロナウイルスによる影響を主因とし、令和3年度入館者数は343,868人（前年度対比128.64%、目標対比58.89%）となりました。

海響館サポーターズクラブは単年度で、ライムサポーター1,342名、オレンジサポーター765名、ブルーサポーター4,340名、レッドサポーター2社、ゴールドサポーター11名の新規・更新会員を獲得し、賛助会員会費収入は15,956,350円（前年度対比入会者：122.44%、賛助会員会費収入：121.24%）となりました。なお、臨時休館中の期間を考慮して当該会員に68日間の有効期間の延長を行った結果、前年度の会員1,260名が繰り越すこととなり、令和2年度までのゴールドサポーターの238名を加え、年度末会員数は合計7,958名でした。

## 2. 事業内容

### (1) 生物に関する資料の収集、輸送及び飼育に関する事業

- ① 生物収集については、自家採集、直接購入及び自家輸送を積極的に進め、マンボウの予備個体の購入・輸送を実施しました。大阪・海遊館など4園館との生物交換を行った他、令和3年9月末に閉館した京急油壺マリンパークからカリフォルニアアシカ4頭を引き取り、うち1頭を鹿児島市平川動物公園にBL（ブリーディングローン；繁殖を目的とした貸し借り）として寄託しました。また、2016年に海響館で繁殖したバンドウイルカのオス1頭をBLとして南知多ビーチランドに寄託しました。
- ② 展示生物の繁殖では、新たに27種の繁殖に取り組みました。国内では希少な事例であるラージスケールアーチャーフィッシュの稚魚までの繁殖育成に成功した他、パオスバッチェー及びストライプバーフィッシュの繁殖に成功しました。海藻類のうち、アラム、アカモク及びワカメの水槽繁殖ができ、ワカメについては遊走子の放出を確認しています。
- ③ アマミホシゾラフグ研究については、奄美大島にて瀬戸内町天然記念物指定の協議が開催されたことから令和3年度の採卵を取り止め、代わってこれまでの本種に関する研究報告を講演し、今後の現地との関係作りを図りました。
- ④ 令和2年4月に山口県下で収集し飼育展示していたアンコウ1尾が令和3年5月に死亡したため、アンコウ展示を中断しました。令和4年3月に新たに入手した個体で長期飼育を目指します。
- ⑤ ニホンアワサンゴの群生展示を目的に、現地でポリプからプラヌラ幼生を採取しました。飼育するニホンアワサンゴは最長で4年6ヶ月が経過し、9月に少数ながら水槽内繁殖が認められました。
- ⑥ イボヤギなどのサンゴ類や各種クラゲ類などの収集、飼育を推進し、展示を充実させました。計画したユウレイクラゲの長期飼育は現地での出現が認められず、採集ができませんでした。
- ⑦ バンドウイルカの人工授精に用いる凍結保存精子の補充については、京急油壺マリンパーク

に寄託していた対象個体を令和3年9月に大分のつくみイルカ島へ移動したため実施を延期しました。

- ⑧ 周南市徳山動物園の依頼を受け、相互の血統管理に寄与することを目的にフンボルトペンギン2羽の個体交換を実施し、東京都葛西臨海水族園からはミナミイワトビペンギン2羽をBLとして輸送搬入しました。マカロニペンギン、フンボルトペンギンの採精及び精液凍結保存を実施しました。
- ⑨ 山口県水産研究センター、山口県栽培漁業公社、京都淡水フグ繁殖研究所及び高瀬水産有限会社から展示用魚類を寄贈いただき、又は購入するなど展示生物の収集ネットワークを拡張しました。
- ⑩ 繁殖したコウイカ幼体の他、収集したアオリイカを中心にカミナリイカ、コウイカ、ケンサキイカ及びヤリイカを展示しました。途中一時途切れる時期がありましたが、ほぼ通年に渡りイカ類の展示を行いました。
- ⑪ ユウレイクラゲについては、例年のように発見及び採集ができなかったため、長期飼育及び人工授精を進められませんでした。
- ⑫ アンコウの展示に代わり山口県水産研究センターで生産されたシロアマダイを新たに展示開始し、3階円柱水槽（#12b）ではハリセンボンに代えて体長がより大きなネズミフグ主体の展示に変更しました。

## (2) 生物の保護及び保全に関する事業

- ① 下関周辺でのウミガメの情報収集及び産卵調査の結果、漂着や混獲など7件（3種7頭）に対応しました。
- ② チリ国立サンチアゴ・メトロポリタン公園付属動物園のフンボルトペンギンプロジェクトの支援を継続しました。
- ③ 鯨類のストランディング2種16件に対応しましたが、いずれも死亡個体でした。
- ④ スナメリの飼育下繁殖を主テーマとした瀬戸内海西方海域スナメリ協議会の定例会議にオンラインで参加しました。
- ⑤ 周防大島沖に群生するニホンアワサンゴの生息域外保全の取組の一環として、昨年に続き周防大島町地家室園地活用推進協議会委員の委嘱を受けています。

## (3) 調査研究に関する事業

- ① 展示生物の繁殖では、以前から継続して取り組んでいる種に加えて、新たに27種の繁殖に取り組みました。日本水族館協会主催の第2回水族館研究会にて、国内では希少な事例であるラージスケールアーチャーフィッシュの卵と仔稚魚について、ニホンアワサンゴのプラヌラ幼生の着生について新たな知見を発表しました。
- ② 下関周辺に生息する水生生物についての調査では、下関市内のカブトガニの産卵数調査をまとめて論文発表した他、繁殖には至りませんでした。ヤマトシマドジョウを採集し飼育繁殖の取組を行いました。また、山口県日本海側で採集されたニホンウナギ（ギンウナギ）の生態調査を継続しました。なお、「オオサンショウウオの分布調査」は現地調査の実施ができず、過去の記録の整理を行いました。
- ③ 山口県日本海沖で採集されたカニ類において、国内では未報告の種として論文発表するととも

に、海響館職員が提案した「アカスジコブシ」が和名となりました。

- ④ プロジェクターの映像を用いた手法によるバンドウイルカの認知に関する東海大学との共同研究は継続しています。
- ⑤ 鯨類の座礁、混獲などへの対応や鯨類に関する調査・研究では、漂着などした死亡鯨類16件(スナメリ15頭、サラワクイルカ1頭)の情報を得て、解剖などにより得られたサンプルを所定の研究機関に送付し、ストランディングデータベースに記録した他、12件の目撃情報として2種(スナメリ1頭、ハセイルカ3頭)及びミナミバンドウイルカと思える不明1種8頭を目撃情報データベースに記録しました。
- ⑥ 林兼産業株式会社との共同開発による海獣類用人工餌料の実用化試験に、四国水族館が新たに研究協力として加わりました。また、粗脂肪の配合割合が5%と7%の2タイプにビタミン添加した製品を令和3年5月より試用中です。別途開発した粉状人工餌料の1年間の常温保管において品質低下が認められないことから更に長期の実用化試験を継続しています。
- ⑦ 山口大学、日本大学、三重大学、東海大学などの大学、山口県水産研究センター、萩博物館などの研究機関それぞれと、令和3年度中は32件(うち令和3年度新規8件)の共同研究を進め、17件(うち令和3年度新規2件)の研究協力を行いました。
- ⑧ 研究誌に主著者として3題の論文が掲載された他、日本水族館協会主催の第2回水族館研究会及び第2回JAAトレーニングセミナー、魚類学会、第62回日本動物園水族館教育研究会、日本水棲生物医学研究会、日本野生動物医学学会などにオンラインにて参加し、8題の口頭発表、5題のポスター発表を行いました。また、共同研究の共著発表として2題の口頭発表、1題のポスター発表及び3題の論文発表並びに研究協力の発表として2題の口頭発表及び1題の論文発表がなされました。なお、荒木獣医師の日本野生動物医学学会でのポスター発表が優秀賞に、日本動物園水族館教育研究会で、魚類展示課の荻本・川迫職員の発表が最優秀賞及び海獣展示課の井上職員の発表が優秀賞に選ばれました。
- ⑨ オンライン開催された第30回ペンギン会議全国大会に参加し、1題の発表を行いました。
- ⑩ 立川副館長がInternational Marine Animal Trainers' Association (IMATA) の機関誌(サウンディングス)の地域レポーターを引き続き務めました。

#### (4) 普及啓発に関する事業

- ① 年間を通じて積極的にInstagramなどSNSによる展示動物の情報発信を行いました。関門海峡潮流水槽でのダイバーによる解説やスナメリの給餌解説などの通常イベント、イルカタッチやペンギンタッチなどの体験型イベントは、昨年度に同じく新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止しましたが、解説パネルをより分かり易く工夫・改善する方針を更に質的に高めて生き物の生態などの普及啓発に努めました。
- ② 改善による新たな魅力づくりと記憶に残る展示を目指して、イワシ類約5万尾の展示を実現させるために瀬戸内海水槽の底砂及び配管を撤去し環境の改善を図った他、沿岸水槽(#17a)に水中照明灯を取り付けてきらめきを演出するなど各水槽での展示改善を実施しました。
- ③ 約100種を目標としたフグ目魚類の常設展示を継続し、展示種類数として世界随一を維持しました。
- ④ イルカとアシカが共演するアクアシアターのプレゼンテーションは、臨時休館期間以外でも密の発生が予想される日時の開催中止や座席制限などの新型コロナウイルス感染防止対策を施し

て、令和3年3月から開始したテーマ「Five rules～楽しいのその先へ～」で引き続き開催しました。令和3年10月23日より制限を解除し、通常のスタイルでの開催としましたが、アシカにアデノウイルス感染症が発生したため、12月23日から令和4年3月3日の期間はアシカのステージ出演を取り止めての開催としました。

- ⑤ 亜南極ゾーンでの「ペンギン大編隊」のイベントは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止期間を設けましたが、状況判断により可能な限り継続しました。また、温帯ゾーンではコロナ禍に対応した新たな解説イベントとして、令和3年10月26日より「ペンギンフィールドガイド」を開始した他、フンボルトペンギンの繁殖行動である穴掘りや巣材集めなど、野生と同様の行動の展示を継続しました。
- ⑥ ペンギン村10周年を記念して改修した幼児を対象にするペンギン学校キッズコーナーは、新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑みながら新型コロナウイルス感染防止対策をとり、主に平日に開放し利用に供しました。
- ⑦ 「食と資源」をテーマにした特別企画展「美味 sea 水族館」を令和3年7月3日から開催し、途中臨時休館があったため10月31日までの開催期間を11月30日まで延長して実施しました。連動した企画として、水産大学の山本義久教授考案の魚料理レシピをQRコードで取り込めるようにした他、茸本朗氏による「野食ハンターはなぜ『未利用魚』を食べるのか」をYouTubeにて映像配信しました。
- ⑧ 2019年よりスタートした地域の教育資源を活用した海洋教育プログラムの作成と実施については、昨年度作成の企画を「海と博物館研究所」の高田浩二所長の協力を得て、下関市立養治小学校と連携し、3年生児童の総合的学習の35時間を利用して「フグ」について文化や水産業などの多方面から学びを深めるプログラムを実施しました。令和4年3月1日にプログラムに参加した3年生児童を「海響館こども学芸員」に認定しました。
- ⑨ 国立研究開発法人水産研究・教育機構水産大学校と連携して運営する「オープンラボ」は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために昨年度から令和3年10月25日まで中止を継続しました。10月26日より整理券を配布して参加組数を制限しての再開でしたが、令和4年1月18日より3月28日まで再び中止としました。7テーマを実施し、参加者数は579名でした。
- ⑩ 総合的な学習として水族館館内の学習プログラム4件及びオンラインで1件に対応しました。また就労体験型の飼育実習として13名の実習生（大学、専門学校生）、博物館実習として3名の実習生（大学生）、獣医実習として2名の実習生（大学生）を受け入れました。教育現場へ赴いての活動は、6件の出前講座を実施した他、職業講話2件及び各種団体の主催する講演など8件（うち5件はオンライン）にも対応し、水族館の活動について広く周知するとともに来館意欲の促進を図りました。バックヤードツアーは新型コロナウイルスの感染拡大防止のために実施しませんでした。  
荒木獣医師がオンラインにて山口大学共同獣医学部の授業科目担当として講義を行いました。
- ⑪ 解説ボランティアは、令和3年4月1日現在の登録者数は41名となり、令和2年度に新規登録した4名は研修が未完了となっております。活動については、令和2年度に続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、通常活動としての来館者への解説補助は自粛とし、館内案内及び出前講座実施時の補助のみをお願いしました。また、研修会、海響館キッズフェスタ及び臨時休館中の活動を中止としました。
- ⑫ 公式ホームページは海響館の活動に関する最新情報を発信するツールとして活用し、年間364

回の更新を行いました。また、ホームページの訪問者数（セッション数）は93万人（前年対比約136%）を上回り、総ページビュー数は約277万件（前年対比約129%）でした。一方、インスタグラムは、年間431回の投稿を行い、令和4年3月31日現在のフォロワー数は2.1万人となりました。更に、フェイスブックへの投稿は、年間418回行うなど、特に臨時休館中は投稿頻度を高め、情報発信を強化しました。

- ⑬ 全日本博物館学会第46回研究大会にオンラインで参加し、1題の口頭発表を行いました。本発表では、地域の教育資源を活用した海洋教育プログラム「海響館と巡る“みずぐ”が見た海の世界」の取組などを紹介しました。
- ⑭ 3階フグコーナーで展開している「ズームアップフグの不思議」は、テーマ「かわいい！のひ・み・つ♥」を継続しました。
- ⑮ 話題性のある生物の展示として、ハロウィン、クリスマス、正月、バレンタイン、ひな祭りなどにちなんだ特別展示を行いました。
- ⑯ 参加型展示としての「魚のエサやり体験」や飼育スタッフによる給餌解説などは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のために中止しました。「イルカタッチ」「バックヤードであったか磯の観察会」は令和3年10月26日に開始しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和4年1月18日より中止としました。
- ⑰ 令和3年7月1日から8月31日まで「海響あーとコンテスト」の作品募集を行い、10月2日から「令和3年度海響あーとコンテスト作品展」を開催しました（令和4年9月30日まで）。

(5) 下関市の観光レクリエーション事業の振興に関する事業

- ① 近隣観光施設と提携した観光客誘致活動を行いました。
- ② 広報宣伝事業
  - i. 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、密集の発生につながると思われる一部のイベントを中止し、PRを控えました。
  - ii. テレビ宣伝については、CM出稿を原則取り止めましたが、KRY山口放送で例年実施している熱血テレビ内の熱血アニマルコーナーについては、令和3年8月から令和4年3月までの期間で継続実施しました。また、20周年事業計画のひとつとして「Marine Life Week～海の命を考える」をテーマに海響館の繁殖への取組を伝えるPR動画をKRY山口放送とタイアップした3番組で放映しました。  
ラジオ宣伝については、COME ON! FMのオリジナル番組「海響館まるごと情報局」を通年放送した他、KRY山口放送の3番組においても、「Marine Life Week～海の命を考える」に関連した内容でPRを行いました。
  - iii. 下関市内、福岡市内に設置している広告看板により海響館のPRを行いました。
  - iv. 市内路線バスでの車内放送による宣伝活動も行いました。
  - v. 地域協賛広告、市内のPR活動として維新・海峽ウォーク、しものせき海峽まつり、海峽花火大会などへの協賛及び観光宣伝隊による誘致活動は、開催中止などに伴い実施しておりません。
  - vi. オフィシャルホームページにて、年間を通じ最新情報を発信しました。
  - vii. ビジネスアカウントでのフェイスブック、インスタグラムによる情報発信を行った他、ヤフー、グーグルにおいて、ディスプレイ広告を実施、またTVer（ティーバー）にて

動画広告を実施しました。

- viii. 広報・報道資料として28件を発信し、テレビ、ラジオ、新聞など73件の取材を受け、海響館情報がマスコミに取り上げられました。

③ 観光資源の開発及び観光事業関係団体等との連携

- i. モアしものせき委員会(海峽メッセ・海響館・唐戸市場・カモンワーフ・はい!からっと横丁)によるインターネット広告や雑誌への掲出を行いました。また、はい!からっと横丁との連携による観覧車との「バリューチケット」、美祢市及び長門市との連携による秋芳洞及び金子みすゞ記念館との「トライアングルチケット」並びに開館以来提携している海峽ゆめタワーとの「ダブルチケット」の販売も継続して行いました。
- ii. 山口県観光スポーツ文化政策課との連携により「令和3年度観光客満足度調査」を行いました。
- iii. 2021しものせき観光キャンペーンに協力しました。
- iv. 下関の特色ある水産物であるフグ・ウニ・クジラに関する下関ブランドを含む物産商品を海響館売店においても積極的に陳列、販売を行いました。また、下関くじら食文化を守る会の会員として加盟継続しました。

(6) 下関市立しものせき水族館の事業に関連する収益事業

- ① ミュージアムショップを運営し、オリジナルグッズなどの商品開発を行いました。
- ② 2階休憩コーナーにて、「真珠取出し体験イベント」を業務委託により実施しました。
- ③ 館内での記念写真撮影及び販売を業務委託により実施しました。
- ④ レストランの運営は引き続き業務委託により実施しました。

(7) その他

- ① 新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、正面玄関入口のサーモカメラによる検温チェックの他、各所に手指消毒器及び空気清浄器を設置し、館内の定期的な消毒の実施、二酸化炭素濃度を基準にした換気の実施、ビニールカーテンの設置などを行いました。
- ② 下関市が新たに入館管理システムを導入し、及びQRコード読み取り式の入退館ゲートを設置し、入館時のお客様と職員の直接的な接触の軽減を図りました。
- ③ 2階エントランスに設置されていた既存のコインロッカーを大型の手荷物も収容できるロッカーに取り替えました。また、ミュージアムショップ横の小企画展室にも同型のロッカーを設置しました。
- ④ 令和4年3月にQRコードを利用したオンラインによる来館者アンケート調査を実施しました。
- ⑤ 例年にない多い回数(30回)の花火が唐戸棧橋の灯台横から打ち上げられたことから、その都度、花火の破片(燃えかす)のイルカなどのプールへの落下を防ぐ時間外業務及び屋上屋根の損傷を調べる業務に対応しました。
- ⑥ 地域連携の一環として、第七管区海上保安本部の灯台150周年に伴う展示や下関市中央消防署の火災予防運動に関する啓発イベント、下関郵便局の年賀状差出に関するイベントに協力しました。

# 令和3年度 貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	36,378,784	41,566,832	△ 5,188,048
普通預金	306,905,325	356,156,392	△ 49,251,067
郵便振替専用口座	1,100	520	580
定期預金	50,000,000	50,000,000	0
売掛金	1,859,091	1,545,214	313,877
未収金	29,539,171	16,339,953	13,199,218
たな卸資産	339,211	891,446	△ 552,235
前払金	0	188,947	△ 188,947
前払費用	4,312	42,739	△ 38,427
立替金	0	0	0
仮払金	0	0	0
流動資産合計	425,026,994	466,732,043	△ 41,705,049
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	49,000,000	49,000,000	0
基本財産引当預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	149,000,000	149,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	64,679,733	58,074,340	6,605,393
役員退職慰労引当資産	17,147,000	15,210,000	1,937,000
特定資産合計	81,826,733	73,284,340	8,542,393
(3) その他固定資産			
什器備品	33,528,312	33,528,312	0
減価償却累計額	△ 30,821,478	△ 28,565,366	△ 2,256,112
電話加入権	1,512,000	1,512,000	0
その他固定資産合計	4,218,834	6,474,946	△ 2,256,112
固定資産合計	235,045,567	228,759,286	6,286,281
資産合計	660,072,561	695,491,329	△ 35,418,768
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
買掛金	11,013,852	11,171,022	△ 157,170
未払金	178,166,359	222,557,960	△ 44,391,601
未払法人税等	835,800	820,800	15,000
未払消費税等	8,653,016	9,181,208	△ 528,192
預り金	3,413,880	2,889,984	523,896
仮受金	6,901,600	6,998,954	△ 97,354
賞与引当金	14,851,472	14,446,029	405,443
流動負債合計	223,835,979	268,065,957	△ 44,229,978
2. 固定負債			
退職給付引当金	64,679,733	58,074,340	6,605,393
役員退職慰労引当金	17,147,000	15,210,000	1,937,000
固定負債合計	81,826,733	73,284,340	8,542,393
負債合計	305,662,712	341,350,297	△ 35,687,585
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
2. 一般正味財産	354,409,849	354,141,032	268,817
(うち基本財産への充当額)	(149,000,000)	(149,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	354,409,849	354,141,032	268,817
負債及び正味財産合計	660,072,561	695,491,329	△ 35,418,768

# 令和3年度 貸借対照表内訳表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
<b>I 資産の部</b>					
1. 流動資産					
現金	2,700,550	33,523,802	154,432		36,378,784
普通預金	130,508,155	158,356,181	18,040,989		306,905,325
郵便振替専用口座	1,100	0	0		1,100
定期預金	0	50,000,000	0		50,000,000
売掛金	0	1,859,091	0		1,859,091
未収金	7,921,724	557,743	21,059,704		29,539,171
たな卸資産	0	339,211	0		339,211
前払金	0	0	0		0
前払費用	4,096	0	216		4,312
立替金	0	0	0		0
仮払金	0	0	0		0
流動資産合計	141,135,625	244,636,028	39,255,341	0	425,026,994
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	49,000,000	0	0		49,000,000
基本財産引当預金	100,000,000	0	0		100,000,000
基本財産合計	149,000,000	0	0	0	149,000,000
(2) 特定資産					
退職給付引当資産	56,918,165	0	7,761,568		64,679,733
役員退職慰労引当資産	12,002,900	1,714,700	3,429,400		17,147,000
特定資産合計	68,921,065	1,714,700	11,190,968	0	81,826,733
(3) その他固定資産					
什器備品	0	31,273,312	2,255,000		33,528,312
減価償却累計額	0	△ 29,919,478	△ 902,000		△ 30,821,478
電話加入権	226,800	151,200	1,134,000		1,512,000
その他固定資産合計	226,800	1,505,034	2,487,000	0	4,218,834
固定資産合計	218,147,865	3,219,734	13,677,968	0	235,045,567
資産合計	359,283,490	247,855,762	52,933,309	0	660,072,561
<b>II 負債の部</b>					
1. 流動負債					
買掛金	0	11,013,852	0		11,013,852
未払金	118,640,874	27,530,063	31,995,422		178,166,359
未払法人税等	0	835,800	0		835,800
未払消費税等	0	2,142,867	6,510,149		8,653,016
預り金	3,405,628	5,411	2,841		3,413,880
仮受金	6,901,600	0	0		6,901,600
賞与引当金	12,187,523	564,020	2,099,929		14,851,472
流動負債合計	141,135,625	42,092,013	40,608,341	0	223,835,979
2. 固定負債					
退職給付引当金	56,918,165	0	7,761,568		64,679,733
役員退職慰労引当金	12,002,900	1,714,700	3,429,400		17,147,000
固定負債合計	68,921,065	1,714,700	11,190,968	0	81,826,733
負債合計	210,056,690	43,806,713	51,799,309	0	305,662,712
<b>III 正味財産の部</b>					
1. 指定正味財産	0	0	0		0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
2. 一般正味財産	149,226,800	204,049,049	1,134,000		354,409,849
(うち基本財産への充当額)	(149,000,000)	(0)	(0)		(149,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
正味財産合計	149,226,800	204,049,049	1,134,000	0	354,409,849
負債及び正味財産合計	359,283,490	247,855,762	52,933,309	0	660,072,561

# 令和3年度 貸借対照表(公益目的事業会計)

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1. 流動資産</b>			
現金	2,700,550	3,280,262	△ 579,712
普通預金	130,508,155	165,196,691	△ 34,688,536
郵便振替専用口座	1,100	520	580
定期預金	0	0	0
売掛金	0	0	0
未収金	7,921,724	6,790,741	1,130,983
たな卸資産	0	0	0
前払金	0	188,947	△ 188,947
前払費用	4,096	4,096	0
立替金	0	0	0
仮払金	0	0	0
流動資産合計	141,135,625	175,461,257	△ 34,325,632
<b>2. 固定資産</b>			
<b>(1) 基本財産</b>			
投資有価証券	49,000,000	49,000,000	0
基本財産引当預金	100,000,000	100,000,000	0
基本財産合計	149,000,000	149,000,000	0
<b>(2) 特定資産</b>			
退職給付引当資産	56,918,165	51,105,419	5,812,746
役員退職慰労引当資産	12,002,900	10,647,000	1,355,900
特定資産合計	68,921,065	61,752,419	7,168,646
<b>(3) その他固定資産</b>			
什器備品	0	0	0
減価償却累計額	0	0	0
電話加入権	226,800	226,800	0
その他固定資産合計	226,800	226,800	0
固定資産合計	218,147,865	210,979,219	7,168,646
<b>資産合計</b>	359,283,490	386,440,476	△ 27,156,986
<b>II 負債の部</b>			
<b>1. 流動負債</b>			
買掛金	0	0	0
未払金	118,640,874	153,529,265	△ 34,888,391
未払法人税等	0	0	0
未払消費税等	0	0	0
預り金	3,405,628	2,883,348	522,280
仮受金	6,901,600	6,998,954	△ 97,354
賞与引当金	12,187,523	12,049,690	137,833
流動負債合計	141,135,625	175,461,257	△ 34,325,632
<b>2. 固定負債</b>			
退職給付引当金	56,918,165	51,105,419	5,812,746
役員退職慰労引当金	12,002,900	10,647,000	1,355,900
固定負債合計	68,921,065	61,752,419	7,168,646
<b>負債合計</b>	210,056,690	237,213,676	△ 27,156,986
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
<b>2. 一般正味財産</b>			
(うち基本財産への充当額)	149,226,800	149,226,800	0
(うち特定資産への充当額)	(149,000,000)	(149,000,000)	(0)
正味財産合計	(0)	(0)	(0)
<b>正味財産合計</b>	149,226,800	149,226,800	0
<b>負債及び正味財産合計</b>	359,283,490	386,440,476	△ 27,156,986

# 令和3年度 貸借対照表(収益事業等会計)

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	33,523,802	38,110,393	△ 4,586,591
普通預金	158,356,181	135,805,856	22,550,325
郵便振替専用口座	0	0	0
定期預金	50,000,000	50,000,000	0
売掛金	1,859,091	1,545,214	313,877
未収金	557,743	549,212	8,531
たな卸資産	339,211	891,446	△ 552,235
前払金	0	0	0
前払費用	0	0	0
立替金	0	0	0
仮払金	0	0	0
流動資産合計	244,636,028	226,902,121	17,733,907
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	0	0	0
基本財産引当預金	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	0	0	0
役員退職慰労引当資産	1,714,700	1,521,000	193,700
特定資産合計	1,714,700	1,521,000	193,700
(3) その他固定資産			
什器備品	31,273,312	31,273,312	0
減価償却累計額	△ 29,919,478	△ 28,114,366	△ 1,805,112
電話加入権	151,200	151,200	0
その他固定資産合計	1,505,034	3,310,146	△ 1,805,112
固定資産合計	3,219,734	4,831,146	△ 1,611,412
資産合計	247,855,762	231,733,267	16,122,495
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
買掛金	11,013,852	11,171,022	△ 157,170
未払金	27,530,063	14,357,828	13,172,235
未払法人税等	835,800	820,800	15,000
未払消費税等	2,142,867	△ 385,266	2,528,133
預り金	5,411	5,411	0
仮受金	0	0	0
賞与引当金	564,020	462,240	101,780
流動負債合計	42,092,013	26,432,035	15,659,978
2. 固定負債			
退職給付引当金	0	0	0
役員退職慰労引当金	1,714,700	1,521,000	193,700
固定負債合計	1,714,700	1,521,000	193,700
負債合計	43,806,713	27,953,035	15,853,678
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	204,049,049	203,780,232	268,817
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	204,049,049	203,780,232	268,817
負債及び正味財産合計	247,855,762	231,733,267	16,122,495

# 令和3年度 貸借対照表(法人会計)

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	154,432	176,177	△ 21,745
普通預金	18,040,989	55,153,845	△ 37,112,856
郵便振替専用口座	0	0	0
定期預金	0	0	0
売掛金	0	0	0
未収金	21,059,704	9,000,000	12,059,704
たな卸資産	0	0	0
前払金	0	0	0
前払費用	216	38,643	△ 38,427
立替金	0	0	0
仮払金	0	0	0
流動資産合計	39,255,341	64,368,665	△ 25,113,324
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	0	0	0
基本財産引当預金	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	7,761,568	6,968,921	792,647
役員退職慰労引当資産	3,429,400	3,042,000	387,400
特定資産合計	11,190,968	10,010,921	1,180,047
(3) その他固定資産			
什器備品	2,255,000	2,255,000	0
減価償却累計額	△ 902,000	△ 451,000	△ 451,000
電話加入権	1,134,000	1,134,000	0
その他固定資産合計	2,487,000	2,938,000	△ 451,000
固定資産合計	13,677,968	12,948,921	729,047
資産合計	52,933,309	77,317,586	△ 24,384,277
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
買掛金	0	0	0
未払金	31,995,422	54,670,867	△ 22,675,445
未払法人税等	0	0	0
未払消費税等	6,510,149	9,566,474	△ 3,056,325
預り金	2,841	1,225	1,616
仮受金	0	0	0
賞与引当金	2,099,929	1,934,099	165,830
流動負債合計	40,608,341	66,172,665	△ 25,564,324
2. 固定負債			
退職給付引当金	7,761,568	6,968,921	792,647
役員退職慰労引当金	3,429,400	3,042,000	387,400
固定負債合計	11,190,968	10,010,921	1,180,047
負債合計	51,799,309	76,183,586	△ 24,384,277
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	1,134,000	1,134,000	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	1,134,000	1,134,000	0
負債及び正味財産合計	52,933,309	77,317,586	△ 24,384,277

# 令和3年度 正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	2,002	10,000	△ 7,998
② 受取会費			
賛助会員受取会費	15,956,350	13,161,350	2,795,000
③ 事業収益			
管理受託事業収益	762,641,141	784,278,380	△ 21,637,239
館内販売事業収益	142,277,380	115,837,345	26,440,035
レストラン事業収益	1,463,548	1,425,000	38,548
写真販売事業収益	524,485	533,990	△ 9,505
自動販売機等事業収益	14,232,672	10,421,258	3,811,414
真珠取出し体験事業収益	2,319,095	0	2,319,095
④ 受取補助金等			
受取国庫補助金	198,022	1,123,000	△ 924,978
⑤ 雑収益			
受取利息	1,500	5,500	△ 4,000
雑収益	2,940,940	3,454,426	△ 513,486
経常収益計	942,557,135	930,250,249	12,306,886
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	9,768,000	9,180,000	588,000
給料	100,030,042	92,979,809	7,050,233
職員手当	68,080,152	65,556,551	2,523,601
退職給付費用	9,595,596	10,055,675	△ 460,079
役員退職慰労金	1,549,600	676,000	873,600
福利厚生費	29,256,704	27,289,651	1,967,053
臨時職員賃金	22,188,983	22,411,509	△ 222,526
会議費	0	0	0
旅費交通費	1,604,470	581,680	1,022,790
通信運搬費	1,227,395	1,003,915	223,480
減価償却費	1,805,112	2,760,164	△ 955,052
消耗什器備品費	6,386,270	38,581,177	△ 32,194,907
消耗品費	18,979,461	24,700,193	△ 5,720,732
水族購入費	2,749,980	4,482,775	△ 1,732,795
展示資料購入費	17,721	0	17,721
飼料購入費	26,775,175	29,957,163	△ 3,181,988
原材料費	368,588	278,368	90,220
修繕費	11,770,967	31,789,801	△ 20,018,834
印刷製本費	166,100	1,961,300	△ 1,795,200
燃料費	1,197,092	809,963	387,129
光熱水料費	183,203,538	161,684,825	21,518,713
賃借料	11,568,710	10,190,387	1,378,323
保険料	929,060	1,030,990	△ 101,930
諸謝金	336,000	0	336,000
手数料	1,967,766	1,590,131	377,635
広報宣伝費	0	0	0
租税公課	4,244,035	2,883,915	1,360,120
支払負担金	12,000	299,999	△ 287,999
委託費	199,137,691	183,633,603	15,504,088
設備改装費	0	0	0
期首商品棚卸高	891,446	1,151,506	△ 260,060
館内販売仕入費	94,252,022	76,045,565	18,206,457
期末商品棚卸高	△ 339,211	△ 891,446	552,235
雑費	10,715	3,880	6,835

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
② 管理費			
役員報酬	3,244,800	3,058,800	186,000
給料	14,348,658	12,499,681	1,848,977
職員手当	11,038,803	9,826,876	1,211,927
退職給付費用	1,357,901	835,051	522,850
役員退職慰労金	387,400	169,000	218,400
福利厚生費	4,463,861	3,870,307	593,554
臨時職員賃金	4,043,064	3,439,372	603,692
会議費	290,765	472,869	△ 182,104
旅費交通費	222,130	490,390	△ 268,260
交際費	0	10,000	△ 10,000
通信運搬費	1,464,675	1,486,875	△ 22,200
減価償却費	451,000	451,000	0
消耗什器備品費	914,100	0	914,100
消耗品費	4,032,154	4,281,379	△ 249,225
原材料費	2,344	6,659	△ 4,315
修繕費	138,380	1,446,178	△ 1,307,798
印刷製本費	347,160	502,700	△ 155,540
燃料費	83,122	59,925	23,197
光熱水料費	9,565,138	8,466,346	1,098,792
賃借料	3,882,604	3,989,474	△ 106,870
保険料	636,730	585,670	51,060
諸謝金	0	0	0
手数料	4,964,984	3,800,377	1,164,607
広報宣伝費	2,927,590	2,662,000	265,590
租税公課	24,664,081	24,077,643	586,438
支払負担金	808,100	763,730	44,370
委託費	37,428,329	39,158,390	△ 1,730,061
設備改装費	0	0	0
雑費	13,465	3,000	10,465
経常費用計	941,452,518	929,092,741	12,359,777
評価損益等調整前当期経常増減額	1,104,617	1,157,508	△ 52,891
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,104,617	1,157,508	△ 52,891
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
① 固定資産売却益			
什器備品売却益	0	0	0
電話加入権売却益	0	0	0
② 固定資産受贈益			
投資有価証券受贈益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
① 固定資産売却損			
什器備品売却損	0	0	0
電話加入権売却損	0	0	0
② 固定資産減損損失			
投資有価証券減損損失	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,104,617	1,157,508	△ 52,891
法人税、住民税及び事業税	835,800	820,800	15,000
当期一般正味財産増減額	268,817	336,708	△ 67,891
一般正味財産期首残高	354,141,032	353,804,324	336,708
一般正味財産期末残高	354,409,849	354,141,032	268,817
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	354,409,849	354,141,032	268,817

# 令和3年度 正味財産増減計算書内訳表

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
	水族館事業	売店等事業			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益					
基本財産受取利息	2,002	0	0		2,002
② 受取会費					
賛助会員受取会費	15,956,350	0	0		15,956,350
③ 事業収益					
管理受託事業収益	652,120,185	0	110,520,956		762,641,141
館内販売事業収益	0	142,277,380	0		142,277,380
レストラン事業収益	0	1,463,548	0		1,463,548
写真販売事業収益	0	524,485	0		524,485
自動販売機等事業収益	0	14,232,672	0		14,232,672
真珠取出し体験事業収益	0	2,319,095	0		2,319,095
④ 受取補助金等					
受取国庫補助金	0	0	198,022		198,022
⑤ 雑収益					
受取利息	0	1,500	0		1,500
雑収益	159,500	2,640,762	140,678		2,940,940
経常収益計	668,238,037	163,459,442	110,859,656	0	942,557,135
(2) 経常費用					
① 事業費					
役員報酬	7,980,000	1,788,000			9,768,000
給料	95,991,742	4,038,300			100,030,042
職員手当	64,982,084	3,098,068			68,080,152
退職給付費用	9,595,596	0			9,595,596
役員退職慰労金	1,355,900	193,700			1,549,600
福利厚生費	27,471,930	1,784,774			29,256,704
臨時職員賃金	16,887,513	5,301,470			22,188,983
会議費	0	0			0
旅費交通費	1,604,470	0			1,604,470
通信運搬費	1,092,811	134,584			1,227,395
減価償却費	0	1,805,112			1,805,112
消耗什器備品費	6,263,290	122,980			6,386,270
消耗品費	18,756,160	223,301			18,979,461
水族購入費	2,749,980	0			2,749,980
展示資料購入費	17,721	0			17,721
飼料購入費	26,775,175	0			26,775,175
原材料費	368,588	0			368,588
修繕費	11,568,567	202,400			11,770,967
印刷製本費	166,100	0			166,100
燃料費	1,197,092	0			1,197,092
光熱水料費	180,572,175	2,631,363			183,203,538
賃借料	3,968,919	7,599,791			11,568,710
保険料	929,060	0			929,060
諸謝金	336,000	0			336,000
手数料	1,107,602	860,164			1,967,766
広報宣伝費	0	0			0
租税公課	0	4,244,035			4,244,035
支払負担金	0	12,000			12,000
委託費	190,637,880	8,499,811			199,137,691
設備改装費	0	0			0
期首商品棚卸高	0	891,446			891,446
館内販売仕入費	0	94,252,022			94,252,022
期末商品棚卸高	0	△ 339,211			△ 339,211
雑費	0	10,715			10,715

(単位:円)

科目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引消去	合計
	水族館事業	収益事業等会計 売店等事業			
② 管理費					
役員報酬			3,244,800		3,244,800
給料			14,348,658		14,348,658
職員手当			11,038,803		11,038,803
退職給付費用			1,357,901		1,357,901
役員退職慰労金			387,400		387,400
福利厚生費			4,463,861		4,463,861
臨時職員賃金			4,043,064		4,043,064
会議費			290,765		290,765
旅費交通費			222,130		222,130
交際費			0		0
通信運搬費			1,464,675		1,464,675
減価償却費			451,000		451,000
消耗什器備品費			914,100		914,100
消耗品費			4,032,154		4,032,154
原材料費			2,344		2,344
修繕費			138,380		138,380
印刷製本費			347,160		347,160
燃料費			83,122		83,122
光熱水料費			9,565,138		9,565,138
賃借料			3,882,604		3,882,604
保険料			636,730		636,730
諸謝金			0		0
手数料			4,964,984		4,964,984
広報宣伝費			2,927,590		2,927,590
租税公課			24,664,081		24,664,081
支払負担金			808,100		808,100
委託費			37,428,329		37,428,329
設備改装費			0		0
雑費			13,465		13,465
経常費用計	672,376,355	137,354,825	131,721,338	0	941,452,518
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4,138,318	26,104,617	△ 20,861,682	0	1,104,617
評価損益等計	0	0	0		0
当期経常増減額	△ 4,138,318	26,104,617	△ 20,861,682	0	1,104,617
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
① 固定資産売却益					
什器備品売却益	0	0	0		0
電話加入権売却益	0	0	0		0
② 固定資産受贈益					
投資有価証券受贈益	0	0	0		0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
① 固定資産売却損					
什器備品売却損	0	0	0		0
電話加入権売却損	0	0	0		0
② 固定資産減損損失					
投資有価証券減損損失	0	0	0		0
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	4,138,318	△ 25,000,000	20,861,682		0
税引前当期一般正味財産増減額	0	1,104,617	0	0	1,104,617
法人税、住民税及び事業税	0	835,800	0		835,800
当期一般正味財産増減額	0	268,817	0	0	268,817
一般正味財産期首残高	149,226,800	203,780,232	1,134,000		354,141,032
一般正味財産期末残高	149,226,800	204,049,049	1,134,000	0	354,409,849
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	149,226,800	204,049,049	1,134,000	0	354,409,849

# 令和3年度 正味財産増減計算書(公益目的事業会計)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	予 算 額				決 算 額	予算残額	前年度決算額	増 減
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	計 (a)	(b)	(a) - (b)	(c)	(b) - (c)
<b>I 一般正味財産増減の部</b>								
<b>1. 経常増減の部</b>								
<b>(1) 経常収益</b>								
① 基本財産運用益								
基本財産受取利息	10,000			10,000	2,002	7,998	10,000	△ 7,998
② 受取会費								
賛助会員受取会費	23,000,000			23,000,000	15,956,350	7,043,650	13,161,350	2,795,000
③ 事業収益								
管理受託事業収益	721,141,403			721,141,403	652,120,185	69,021,218	668,166,481	△ 16,046,296
④ 雑収益								
受取利息	0			0	0	0	0	0
雑収益	0			0	159,500	△ 159,500	0	159,500
<b>経常収益計</b>	<b>744,151,403</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>744,151,403</b>	<b>668,238,037</b>	<b>75,913,366</b>	<b>681,337,831</b>	<b>△ 13,099,794</b>
<b>(2) 経常費用</b>								
① 事業費								
役員報酬	7,980,000			7,980,000	7,980,000	0	7,560,000	420,000
給料	104,034,480			104,034,480	95,991,742	8,042,738	90,269,609	5,722,133
職員手当	81,066,240		△ 7,399,116	73,667,124	64,982,084	8,685,040	62,920,080	2,062,004
退職給付費用	7,252,080		2,343,516	9,595,596	9,595,596	0	10,055,675	△ 460,079
役員退職慰労金	835,200			835,200	1,355,900	△ 520,700	591,500	764,400
福利厚生費	32,019,760			32,019,760	27,471,930	4,547,830	25,684,772	1,787,158
臨時職員賃金	41,244,950		△ 10,125,280	31,119,670	16,887,513	14,232,157	16,286,051	601,462
会議費	0			0	0	0	0	0
旅費交通費	2,854,000			2,854,000	1,604,470	1,249,530	581,680	1,022,790
通信運搬費	1,036,030		56,781	1,092,811	1,092,811	0	854,888	237,923
消耗什器備品費	6,442,000			6,442,000	6,263,290	178,710	38,581,177	△ 32,317,887
消耗品費	20,018,850		△ 56,781	19,962,069	18,756,160	1,205,909	21,137,998	△ 2,381,838
水族購入費	4,076,000			4,076,000	2,749,980	1,326,020	4,482,775	△ 1,732,795
展示資料購入費	30,000			30,000	17,721	12,279	0	17,721
飼料購入費	29,902,000			29,902,000	26,775,175	3,126,825	29,957,163	△ 3,181,988
原材料費	462,300			462,300	368,588	93,712	278,368	90,220
修繕費	22,634,050			22,634,050	11,568,567	11,065,483	31,789,801	△ 20,221,234
印刷製本費	4,262,000		△ 144,592	4,117,408	166,100	3,951,308	1,961,300	△ 1,795,200
燃料費	1,052,500		144,592	1,197,092	1,197,092	0	809,963	387,129
光熱水料費	191,892,400			191,892,400	180,572,175	11,320,225	159,782,024	20,790,151
賃借料	4,520,200			4,520,200	3,968,919	551,281	3,695,362	273,557
保険料	1,046,000			1,046,000	929,060	116,940	1,030,990	△ 101,930
諸謝金	0		336,000	336,000	336,000	0	0	336,000
手数料	1,290,000			1,290,000	1,107,602	182,398	1,096,065	11,537
広報宣伝費	0			0	0	0	0	0
租税公課	0			0	0	0	0	0
支払負担金	0			0	0	0	0	0
委託費	180,160,450		14,844,880	195,005,330	190,637,880	4,367,450	174,930,590	15,707,290
設備改装費	2,850,000			2,850,000	0	2,850,000	0	0
雑費	0			0	0	0	0	0
<b>経常費用計</b>	<b>748,961,490</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>748,961,490</b>	<b>672,376,355</b>	<b>76,585,135</b>	<b>684,337,831</b>	<b>△ 11,961,476</b>
<b>評価損益等調整前当期経常増減額</b>	<b>△ 4,810,087</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>△ 4,810,087</b>	<b>△ 4,138,318</b>	<b>△ 671,769</b>	<b>△ 3,000,000</b>	<b>△ 1,138,318</b>
<b>評価損益等計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 4,810,087</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>△ 4,810,087</b>	<b>△ 4,138,318</b>	<b>△ 671,769</b>	<b>△ 3,000,000</b>	<b>△ 1,138,318</b>
<b>2. 経常外増減の部</b>								
<b>(1) 経常外収益</b>								
① 固定資産売却益								
什器備品売却益	0			0	0	0	0	0
電話加入権売却益	0			0	0	0	0	0
② 固定資産受贈益								
投資有価証券受贈益	0			0	0	0	0	0
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>(2) 経常外費用</b>								
① 固定資産売却損								
什器備品売却損	0			0	0	0	0	0
電話加入権売却損	0			0	0	0	0	0
② 固定資産減損損失								
投資有価証券減損損失	0			0	0	0	0	0
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>他会計振替額</b>	<b>4,810,087</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>4,810,087</b>	<b>4,138,318</b>	<b>671,769</b>	<b>3,000,000</b>	<b>1,138,318</b>
<b>税引前当期一般正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>法人税、住民税及び事業税</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>一般正味財産期首残高</b>	<b>150,512,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>150,512,000</b>	<b>149,226,800</b>	<b>1,285,200</b>	<b>149,226,800</b>	<b>0</b>
<b>一般正味財産期末残高</b>	<b>150,512,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>150,512,000</b>	<b>149,226,800</b>	<b>1,285,200</b>	<b>149,226,800</b>	<b>0</b>
<b>II 指定正味財産増減の部</b>								
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>指定正味財産期首残高</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>指定正味財産期末残高</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>150,512,000</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>150,512,000</b>	<b>149,226,800</b>	<b>1,285,200</b>	<b>149,226,800</b>	<b>0</b>

# 令和3年度 正味財産増減計算書(収益事業等会計)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	予 算 額				決 算 額 (b)	予算残額 (a) - (b)	前年度決算額 (c)	増 減 (b) - (c)
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	計 (a)				
<b>I 一般正味財産増減の部</b>								
<b>1. 経常増減の部</b>								
(1) 経常収益								
① 事業収益								
館内販売事業収益	269,316,000			269,316,000	142,277,380	127,038,620	115,837,345	26,440,035
レストラン事業収益	1,800,000			1,800,000	1,463,548	336,452	1,425,000	38,548
写真販売事業収益	1,833,000			1,833,000	524,485	1,308,515	533,990	△ 9,505
自動販売機等事業収益	18,204,000			18,204,000	14,232,672	3,971,328	10,421,258	3,811,414
真珠取出体験事業収益	4,672,000			4,672,000	2,319,095	2,352,905	0	2,319,095
② 雑収益								
受取利息	5,500			5,500	1,500	4,000	5,500	△ 4,000
雑収益	2,712,000			2,712,000	2,640,762	71,238	3,275,633	△ 634,871
経常収益計	298,542,500	0	0	298,542,500	163,459,442	135,083,058	131,498,726	31,960,716
(2) 経常費用								
① 事業費								
役員報酬	1,788,000			1,788,000	1,788,000	0	1,620,000	168,000
給料	3,913,000		125,300	4,038,300	4,038,300	0	2,710,200	1,328,100
職員手当	5,666,400		△ 125,300	5,541,100	3,098,068	2,443,032	2,636,471	461,597
退職給付費用	112,000			112,000	0	112,000	0	0
役員退職慰労金	208,800			208,800	193,700	15,100	84,500	109,200
福利厚生費	4,031,100			4,031,100	1,784,774	2,246,326	1,604,879	179,895
臨時職員賃金	17,346,000		△ 9,374,640	7,971,360	5,301,470	2,669,890	6,125,458	△ 823,988
会議費	240,000			240,000	0	240,000	0	0
旅費交通費	238,000			238,000	0	238,000	0	0
通信運搬費	271,000			271,000	134,584	136,416	149,027	△ 14,443
減価償却費	1,805,112			1,805,112	1,805,112	0	2,760,164	△ 955,052
消耗什器備品費	514,000			514,000	122,980	391,020	0	122,980
消耗品費	9,943,000		△ 159,300	9,783,700	223,301	9,560,399	3,562,195	△ 3,338,894
原材料費	0			0	0	0	0	0
修繕費	53,000		159,300	212,300	202,400	9,900	0	202,400
印刷製本費	137,000			137,000	0	137,000	0	0
燃料費	0			0	0	0	0	0
光熱水料費	2,987,000			2,987,000	2,631,363	355,637	1,902,801	728,562
賃借料	12,321,000			12,321,000	7,599,791	4,721,209	6,495,025	1,104,766
保険料	0			0	0	0	0	0
諸謝金	0			0	0	0	0	0
手数料	1,416,000			1,416,000	860,164	555,836	494,066	366,098
広報宣伝費	0			0	0	0	0	0
租税公課	8,668,000			8,668,000	4,244,035	4,423,965	2,883,915	1,360,120
支払負担金	1,110,000			1,110,000	12,000	1,098,000	299,999	△ 287,999
委託費	2,805,000		9,374,640	12,179,640	8,499,811	3,679,829	8,703,013	△ 203,202
設備改装費	0			0	0	0	0	0
期首商品棚卸高	2,230,493			2,230,493	891,446	1,339,047	1,151,506	△ 260,060
館内販売仕入費	172,991,000			172,991,000	94,252,022	78,738,978	76,045,565	18,206,457
期末商品棚卸高	△ 2,230,493			△ 2,230,493	△ 339,211	△ 1,891,282	△ 891,446	552,235
雑費	100,000			100,000	10,715	89,285	3,880	6,835
経常費用計	248,664,412	0	0	248,664,412	137,354,825	111,309,587	118,341,218	19,013,607
評価損益等調整前当期経常増減額	49,878,088	0	0	49,878,088	26,104,617	23,773,471	13,157,508	12,947,109
評価損益等計	0			0	0	0	0	0
当期経常増減額	49,878,088	0	0	49,878,088	26,104,617	23,773,471	13,157,508	12,947,109
<b>2. 経常外増減の部</b>								
(1) 経常外収益								
① 固定資産売却益								
什器備品売却益	0			0	0	0	0	0
電話加入権売却益	0			0	0	0	0	0
② 固定資産受贈益								
投資有価証券受贈益	0			0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
① 固定資産売却損								
什器備品売却損	0			0	0	0	0	0
電話加入権売却損	0			0	0	0	0	0
② 固定資産減損損失								
投資有価証券減損損失	0			0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	△ 38,161,700			△ 38,161,700	△ 25,000,000	△ 13,161,700	△ 12,000,000	△ 13,000,000
税引前当期一般正味財産増減額	11,716,388	0	0	11,716,388	1,104,617	10,611,771	1,157,508	△ 52,891
法人税、住民税及び事業税	3,534,000			3,534,000	835,800	2,698,200	820,800	15,000
当期一般正味財産増減額	8,182,388	0	0	8,182,388	268,817	7,913,571	336,708	△ 67,891
一般正味財産期首残高	190,284,786			190,284,786	203,780,232	△ 13,495,446	203,443,524	336,708
一般正味財産期末残高	198,467,174	0	0	198,467,174	204,049,049	△ 5,581,875	203,780,232	268,817
<b>II 指定正味財産増減の部</b>								
当期指定正味財産増減額	0			0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0			0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0			0	0	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	198,467,174	0	0	198,467,174	204,049,049	△ 5,581,875	203,780,232	268,817

# 令和3年度 正味財産増減計算書(法人会計)

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科目	予 算 額				決 算 額 (b)	予算残額 (a) - (b)	前年度決算額 (c)	増 減 (b) - (c)
	当初予算額	補正予算額	流用増減額	計 (a)				
<b>I 一般正味財産増減の部</b>								
<b>1. 経常増減の部</b>								
(1) 経常収益								
① 事業収益								
管理受託事業収益	128,160,597			128,160,597	110,520,956	17,639,641	116,111,899	△ 5,590,943
② 受取補助金等								
受取国庫補助金	0			0	198,022	△ 198,022	1,123,000	△ 924,978
③ 雑収益								
受取利息	0			0		0	0	0
雑収益	0			0	140,678	△ 140,678	178,793	△ 38,115
経常収益計	128,160,597	0	0	128,160,597	110,859,656	17,300,941	117,413,692	△ 6,554,036
(2) 経常費用								
① 管理費								
役員報酬	3,694,000			3,694,000	3,244,800	449,200	3,058,800	186,000
給料	14,186,520		162,138	14,348,658	14,348,658	0	12,499,681	1,848,977
職員手当	13,738,360		△ 162,138	13,576,222	11,038,803	2,537,419	9,826,876	1,211,927
退職給付費用	988,920			988,920	1,357,901	△ 368,981	835,051	522,850
役員退職慰労金	348,000			348,000	387,400	△ 39,400	169,000	218,400
福利厚生費	4,530,140			4,530,140	4,463,861	66,279	3,870,307	593,554
臨時職員賃金	4,278,050			4,278,050	4,043,064	234,986	3,439,372	603,692
会議費	521,000			521,000	290,765	230,235	472,869	△ 182,104
旅費交通費	4,315,000			4,315,000	222,130	4,092,870	490,390	△ 268,260
交際費	100,000			100,000	0	100,000	10,000	△ 10,000
通信運搬費	2,490,970			2,490,970	1,464,675	1,026,295	1,486,875	△ 22,200
減価償却費	451,000			451,000	451,000	0	451,000	0
消耗什器備品費	1,085,000			1,085,000	914,100	170,900	0	914,100
消耗品費	4,585,150			4,585,150	4,032,154	552,996	4,281,379	△ 249,225
原材料費	8,700			8,700	2,344	6,356	6,659	△ 4,315
修繕費	2,227,950		△ 1,094,500	1,133,450	138,380	995,070	1,446,178	△ 1,307,798
印刷製本費	831,000			831,000	347,160	483,840	502,700	△ 155,540
燃料費	296,500			296,500	83,122	213,378	59,925	23,197
光熱水料費	10,099,600			10,099,600	9,565,138	534,462	8,466,346	1,098,792
賃借料	5,872,800			5,872,800	3,882,604	1,990,196	3,989,474	△ 106,870
保険料	596,000		40,730	636,730	636,730	0	585,670	51,060
諸謝金	16,000			16,000	0	16,000	0	0
手数料	12,995,000		△ 40,730	12,954,270	4,964,984	7,989,286	3,800,377	1,164,607
広報宣伝費	3,192,000			3,192,000	2,927,590	264,410	2,662,000	265,590
租税公課	28,138,000			28,138,000	24,664,081	3,473,919	24,077,643	586,438
支払負担金	1,618,000			1,618,000	808,100	809,900	763,730	44,370
委託費	40,058,550		1,094,500	41,153,050	37,428,329	3,724,721	39,158,390	△ 1,730,061
設備改装費	150,000			150,000	0	150,000	0	0
雑費	100,000			100,000	13,465	86,535	3,000	10,465
経常費用計	161,512,210	0	0	161,512,210	131,721,338	29,790,872	126,413,692	5,307,646
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 33,351,613	0	0	△ 33,351,613	△ 20,861,682	△ 12,489,931	△ 9,000,000	△ 11,861,682
評価損益等計	0			0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 33,351,613	0	0	△ 33,351,613	△ 20,861,682	△ 12,489,931	△ 9,000,000	△ 11,861,682
<b>2. 経常外増減の部</b>								
(1) 経常外収益								
① 固定資産売却益								
什器備品売却益	0			0	0	0	0	0
電話加入権売却益	0			0	0	0	0	0
② 固定資産受贈益								
投資有価証券受贈益	0			0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
① 固定資産売却損								
什器備品売却損	0			0	0	0	0	0
電話加入権売却損	0			0	0	0	0	0
② 固定資産減損損失								
投資有価証券減損損失	0			0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	33,351,613			33,351,613	20,861,682	12,489,931	9,000,000	11,861,682
税引前当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
法人税、住民税及び事業税	0			0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	0			0	1,134,000	△ 1,134,000	1,134,000	0
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	1,134,000	△ 1,134,000	1,134,000	0
<b>II 指定正味財産増減の部</b>								
当期指定正味財産増減額	0			0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0			0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	0	0	0	0	1,134,000	△ 1,134,000	1,134,000	0